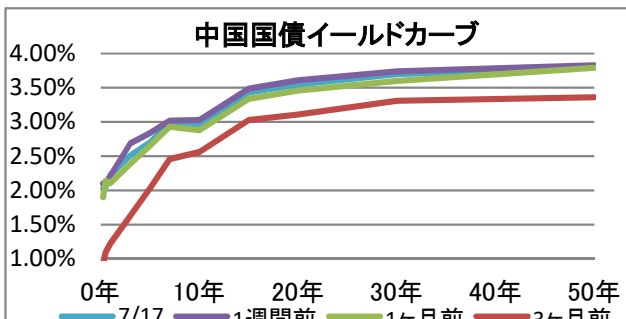
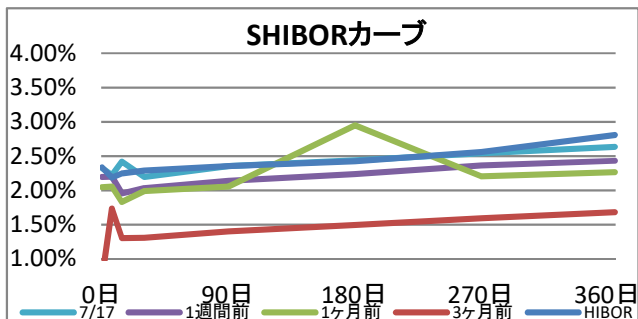


## ①市場概況

基準レート		2020/7/17	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0043	0.0100
	JPY/CNY	6.5263	0.0022
SHIBOR	3M	2.3560%	+0.2130%
国債利回り	10年	2.95%	-0.08%
上海総合指数		3,214.13	-169.19



### (1) 概況

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、トランプ大統領が香港への優遇措置撤廃に関する大統領令と香港自治法に署名し中国も報復検討しているとの報や、米国のファーウェイに対する一層の制裁強化実施により、景気回復期待から急上昇していた中国株式市場が大きく反落し、国債利回りも低下に転じ、外為市場ではドル人民元が7.0を挟んで小動きに終始した。

米国の中国に対する米国の優遇措置廃止を含む国際的な対抗措置の影響は軽微といわれているものの、米国が対中制裁を強化する状況になりつつあり、中国も対応を硬化させているようにも見受けられ、アジアでの領土問題を含めた米中対立の先鋭化が懸念される。

### (2) 金融調節

中国人民銀行の調整は、リバースオペは期日がなかったものの新規で合計3,300億元実施し、MLFは15日と23日にそれぞれ2,000億元の期日が到来することから、15日に4,000億元（1年2.95%）を実施し、ネットで5,300億元を供給している。23日に期日の到来するTMLF2,977億元についても全額3年を期限として期間延長可能としている。

### (3) 主な経済指標

- ・GDP（第2Q）は、前年同期比+3.2%（前四半期-6.8%）と、1992年以降で初のマイナスとなった前四半期からプラス成長に転じている。
- ・鉱工業生産（6月）は、前年比+4.8%（5月+4.4%）と、国営、民間とも回復を維持し、自動車、携帯電話、ロボット製造等の回復がけん引している。
- ・小売売上高（6月）は、前年比-1.8%（5月-2.8%）と、5ヶ月連続のマイナスとなった。雇用や新型コロナウイルス感染への不安から高額品や外食が依然低迷していることが主因。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.3280%	1.9000%	2.4000%	
1W	2.2270%	2.5000%	2.6700%	2.3000%
2W	2.4230%	2.8000%	2.9000%	2.1500%
1M	2.1980%	1.5500%	5.5000%	2.3000%
3M	2.3560%	3.8000%	6.6000%	2.5700%
6M	2.4410%	2.5420%		2.6800%
9M	2.5420%			2.7300%
12M	2.6370%	3.3000%		

中国人民銀行が小刻みな資金供給とMLFのロールオーバーを決めたことから、金利水準が急上昇する状況にはないものの、過熱気味となっている株式市場や不動産市場への牽制もあってきつめの調整による金利の高め維持姿勢を示している模様。ターム物は1ヶ月の2.30%-2.40%での出会いを除き極めて限定的。NCDは、金利の高止まりから発行がやや停滞していたものの、週後半に株が反落して金利が低下すると運用姿勢が強まったが長続きしなかった。1ヶ月が2.20%-2.30%、3ヶ月が2.55%前後、6ヶ月2.70%前後、12ヶ月が2.75%前後まで上昇している。

### (2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.06%	0.07%
1W	0.10%	0.12%
1M	0.20%	0.25%
3M	0.45%	0.50%
6M	0.60%	0.65%
12M	0.95%	1.00%

需給は引き続き安定しており、金利水準は引き続き低位で安定している。ターム物は、1ヶ月が0.20%-0.22%で取引されている他は3ヶ月が0.45%前後で取引されているものの出会いは限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.03%	2.06%	2.43%	2.55%	3.04%
6M	2.05%	2.11%	2.67%	2.65%	3.17%
1Y	2.23%	2.25%	2.87%	2.95%	3.47%
3Y	2.51%	2.74%	3.28%	3.62%	4.14%
5Y	2.70%	3.13%	3.62%	3.96%	4.61%
10Y	2.95%	3.33%	3.91%	4.18%	4.94%

債券市場では、10年国債利回りが3%を超えるレベルに上昇していたものの、急騰していた株式市場の調整入りや景気回復ペース見通しを慎重にさせる経済指標等により国債利回りは低下に転じたが、信用債利回りは小幅ながら上昇を続けている。

イールドカーブは、国債が買い戻しにより中期ゾーンを中心に利回りが低下に転じているもののイールド形状に大きな変化はない一方、これまで国債利回りの上昇により縮小を続けていたクレジットスプレッドは国債利回りの低下と信用債利回りの上昇継続により急拡大している。

中国人民銀行と中国証券監督管理委員会は、銀行間債券市場と取引所債券市場を一体的に取引可能とするインフラ整備を進めることを発表している（7/19）。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	29.6 / 30.0
1M	128.0 / 129.5
3M	352.0 / 358.0
6M	666.0 / 670.0
9M	965.0 / 980.0
12M	1252.0 / 1265.0

対ドル基準レートは7.0043と前週末比+100pipsのドル高元安、対円基準レートは6.5263と同+22pipsの円高元安と中国株式市場が調整色を強めたものの週を通して7.0を挟んだ設定が続いていた。国内市場でも一時6.98台で取引されていたものの、消費回復ペースの鈍さを示す経済指標の影響もあって、一方的に元高に進む展開にはならなかった。

先物は、人民元金利は上昇しているものの、投資資金ニーズも高まらない状況が続いていることから、スワップ幅は前週末の水準での小幅な値動きに終始した。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		1.93%
6M	2.36%	2.51%	1.94%
9M	2.37%	2.60%	1.95%
1Y	2.38%	2.67%	1.97%
3Y	2.55%	2.99%	1.99%
5Y	2.70%	3.20%	
7Y	2.85%	3.38%	
10Y	3.04%	3.59%	

短期の基準金利は引き続き上昇しているものの国債利回りが低下に転じたことから、スワップ金利も小幅な低下に転じている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは拡大を続けているものの、拡大要因は先週末までのスワップ金利の上昇から国債利回りの低下に変化している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。